

登録団体概要書

(2024年12月作成)

(ふりがな) 団 体 名		とくていひえいりかつどうほうじん たかまつ とーまけ あ そうしょう け あ けんとうかい 特定非営利活動法人 高松ストーマケア・創傷ケア検討会			
代表者職・氏名		理事長 山本由利子			
主たる事務所の 所 在 地		〒760-0080 香川県高松市木太町 2997-10			
連 絡 先 等		電 話	090-5710-8977	F A X	087-833-2616
		e - mail	woc.t@t-stoma.com		
		ホームページ	https://www.t-stoma.com		
法人設立年月		令和2年6月		正会員数	37 人
活 動 目 的 (定款に記載された目的)		この法人は、一般市民や医療・福祉関係者に対して、ストーマケアや褥瘡をはじめとする創傷ケアの問題を解決するために、講演会の開催による教育、災害時のストーマケアや褥瘡ケアの対策の普及啓発に関する事業等を行い、地域のストーマケアや創傷ケア問題の改善に寄与することを目的とする。			
主たる活動分野		保健、医療または福祉の増進を図る活動 社会教育の推進を図る活動 災害支援活動			
活 動 状 況	主 な 活 動	・ 病院や訪問看護ステーション看護師を対象としたストーマケアや褥瘡対策の講演会の人材育成や情報提供活動 ・ 災害時のストーマ保有者への情報提供やストーマ装具提供準備のネットワーク構築活動 ・ ストーマ保有者と家族向けの情報提供・親睦目的の交流会の開催 ・ 災害時の褥瘡予防対策準備の啓発活動			
	活 動 地 域	香川県内			
	活 動 頻 度	1～2 か月に 1 回			
	過 去 の 事 業 実 績	・ 人材育成事業 ストーマ装具エキスパート認定制度にて1級～3級まで認定 ・ 情報提供事業 在宅向けストーマケアセミナー (年1回) 褥瘡セミナー (年1回) ・ 交流ネットワーク事業 オストメイト交流会 (年2回) みつはネットワーク (MC S利用の情報交換、災害時利用策) ・ 啓発活動 災害時の褥瘡対策についてパンフレット配布、 ストーマ保有者向けの災害対策パンフレット配布 今年度は高松市防災プラザでオストメイト災害トイレと共に展示 ・ 災害支援活動 ストーマ装具の備蓄推進活動			

今後の活動方針	・質の高いストーマケアが実践できる看護師養成を進める。 ・地域で褥瘡保有者が減少するように教育活動を推進する ・災害時に外見ではわからない内部障害者であるストーマ保有者や、褥瘡発生リスク保有者を見落とさないシステム作りを推進する ・香川県には患者会が無いいため、ストーマ保有者との交流をはかり患者会立ち上げを支援する、
県民へのPR	ストーマ（人工肛門・尿路変更）のケアは個別性が高く、手術した病院では専門の皮膚・排泄ケア認定看護師が対応しています。しかし、地域では人材が少ないため、日常生活に不安を抱えながら生活しているストーマ保有者の方が多いです。 また、じょくそう（床ずれ）は発生してしまうと、治りにくいため予防対策が重要ですが、対策が遅れています。 地域でのストーマ保有者をはじめ排泄問題のある方、褥瘡発生リスクを抱えている方が安心して過ごせる社会を目指して活動しています。

(注1) 団体登録された場合、この概要書は、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2) 枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

活動状況報告書

(2024 年12月作成)

団体名 特定非営利活動法人 高松ストーマケア・創傷ケア検討会

登録要件	登録要件に関する団体の活動状況等
広く県民を対象とするNPO活動を行っていること	・情報提供活動 災害時のストーマ保有者や褥瘡発生危険者の支援対策について情報提供の活動を行っている *過去の実績 ①ストーマ保有者の災害対策パンフレットの配布（高松・西讃・中讃） ②災害時のストーマ保有者・褥瘡発生危険者の支援について、高松防災プラザでの支援物品などの展示、パンフレット配布
より公益性の高いNPO活動を行っていること	・交流ネットワーク事活動 ストーマ保有者・家族、看護師、ストーマ装具メーカーとの交流の機会を提供し、共同で災害対策や問題解決策の検討を行っている。また、患者会立ち上げ準備支援をしている。 ・ストーマ保有者の災害時の装具備蓄活動 災害時に不足するストーマ装具の備蓄を香川県内の主要病院などに整備する活動を行っている。 ・人財育成活動 ストーマ保有者の日常生活の問題を解決できる質の高い看護師を養成するため、ストーマ装具エキスパートの資格認定をしている。
活発なNPO活動を継続的に行い、当該活動に発展性及び模範性があること	ストーマ保有者は外見から見えないため、日常生活での困難を抱えていても顕在化しにくい。日常生活の問題解決には専門的なスキルが必要だが、専門の看護師は急性期病院に集中しており、地域では人材が不足している。一人でも多くのストーマ保有者が、安心して以前と変わらない日常生活を送ることができる社会となるように、これからの医療福祉関係者やストーマ保有者とともに活動していく。 また、災害時において見落されがちなストーマ保有者や褥瘡発生リスク保有者が安全に対応できるようシステム構築を進めていく。

(注1)この報告書は、団体の活動内容が登録要件を満たしているかを審査するための資料として用い、また、団体登録された場合、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2)枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(注3)活動の状況等が分かる資料等があれば添付ください。